

授業科目	特別支援教育論					実務家教員担当科目	-							
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期							
担当教員	園山 繁樹													
授業概要	特別の支援を必要とする幼児児童生徒の教育に当たっては、障害、特性、背景等を理解し、一人ひとりの学習上または生活上の困難を理解した上で、それぞれの個別の教育的ニーズに応じた支援方法を適用する必要がある。特別支援教育やインクルーシブ教育システムは、それら多様な障害、特性、背景等を有するすべての子どもを対象とした教育である。この授業では特別支援教育とインクルーシブ教育システムの理念と制度を踏まえた上で、さまざまな障害特性と支援方法の基礎的知識、障害以外の特別な教育的ニーズの理解と対応の基礎的知識、並びに校内体制、保護者・専門機関・地域との連携について学ぶ。													
授業形態	対面授業			授業方法	Google フォームを利用して双方型授業を行う									
学生が達成すべき行動目標														
標準的レベル	1. 特別支援教育とインクルーシブ教育システムの考え方、並びに障害者処遇に関する理念等の歴史的背景を理解している。 2. 特別の支援を必要とする幼児児童生徒に対する学校制度を含む教育課程や支援の方法を理解している。 3. 特別の支援を必要とする幼児児童生徒の障害の特性及び心身の発達の基本的事項を説明できる。 4. 障害以外の特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の学習上または生活上の困難とその支援の基本的事項を説明できる。 5. 保護者・専門機関・地域との連携について理解している。													
	標準的レベルに加えて、特別の支援を必要とする幼児児童生徒の特性に合った個別的支援の具体例を複数説明することができる。													
評価方法・評価割合														
評価方法			評価割合（数値）			備考								
試験			100%											
小テスト			0											
レポート			0											
発表（口頭、プレゼンテーション）			0											
レポート外の提出物			0											
その他			0											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング														
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE34107J			
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）					
各回のキーワードについて事前に調べておく。授業で取り上げた重要事項について復習しておく。									4					
授業計画														

第1回	テーマ：特別支援教育とインクルーシブ教育システムの理念及び歴史的背景 特別支援教育とインクルーシブ教育システムの理念、障害者処遇に関する理念の変遷、欧米と我が国の障害者教育の歴史
第2回	テーマ：特別支援教育の制度 特別支援学校・特別支援学級・通級による指導の位置づけと教育課程、自立活動、個別の指導計画
第3回	テーマ：障害のある幼児児童生徒の理解と支援（1） 知的障害、自閉症、学習障害、注意欠如多動症、情緒障害
第4回	テーマ：障害のある幼児児童生徒の理解と支援（2） 肢体不自由、視覚障害、聴覚障害
第5回	テーマ：障害のある幼児児童生徒の理解と支援（3） 病弱・身体虚弱、言語障害、重複障害、重症心身障害、医療的ケア
第6回	テーマ：障害以外の特別の教育的ニーズのある幼児児童生徒の理解と対応 不登校、外国籍、貧困、マルトリートメント
第7回	テーマ：通常の学級における支援 ユニバーサルデザイン、個別の支援、特別支援教育支援員、校内支援体制
第8回	テーマ：保護者・関係機関・地域との連携 特別支援教育コーディネーター、特別支援学校のセンター的機能、個別の教育支援計画、移行支援、ネットワーク
テキスト	プリントを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	1 「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」文部科学省 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm 2 「インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）」国立特別支援教育総合研究所 https://inclusive.nise.go.jp/ 3 「特別支援学校学習指導要領等」文部科学省 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/tokushi/1284518.htm 4 「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告」文部科学省 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/181/toushin/mext_00004.html
課題に対するフィードバックの方法	・小テストは提出後に回答例を提示する。 ・定期試験は成績発表後に回答例を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	インクルーシブ教育システムや特別支援教育は、教育に関する大きな国際的動向の一つです。教員としてその基本的事項を理解していることが求められています。また、特別の支援は教員一人でするものではなく学校全体として取り組むものであると同時に、地域・国全体で取り組むものと言えます。今後はAIやICTの活用によって特別の支援のあり方は変わっていくと予想されますので、それらの動向にも注目してください。